

第2期高知県産業振興計画の策定方針等（案）

1 第2期計画の特徴等

- 計画の期間は、平成24年度から平成27年度までの4年間とする。
- 県民の皆様と成功イメージを共有するため、「目指すべき将来像（10年後）」と計画全体を貫く「目標」、テーマごとの「4年後の目標」、「10年後の目指す姿」を明確に掲げる。

2 第2期計画の策定方針

第2期計画では、県経済全体の底上げに向けて、腰を据えて継続的な取り組みを行うとともに、より高いレベルを目指して挑戦していくために、次の方針により策定する。

- 第1期計画の取り組みによって、見えてきた乗り越えるべき課題や残された課題に対応する。
- 各施策、各事業において、可能な限り、アウトカム目標を設定する。
- 次の3つの視点をもって、計画をさらに進化させ、推進する。

①「これまでの取り組みを定着、さらに成長・発展させて、より大きな動き、大きな産業を目指す」

産業振興の取り組みの経済効果をより大きなものにできるよう、地産外商の推進や観光の振興、県内産業の投資の誘発などによって、動き出した数々の事業を定着、さらに成長、発展させて、より大きな動き、大きな産業を目指していく。

②「将来に大きな可能性を秘めている分野に挑戦し、新たな産業集積の形成を目指す」

本県産業が長期にわたって成長、発展し続ける礎を築いていくことができるよう、企業誘致とともに、防災や新エネルギーなど、将来に大きな可能性を秘めている分野に思い切って挑戦し、新たな産業集積の形成を目指していく。

③「産業振興の取り組みをより地域地域に広げる」

地域アクションプランのさらなる推進や、中山間対策の抜本強化などによって、より多くの県民の皆様が産業振興の取り組みに参画いただき、地域の潜在力を引き出し、その経済効果を地域地域に広げていく。

3 その他、第1期からの変更点（計画の構成等）

<総論>

- ① 第1期計画の総括（主な成果、乗り越えるべき課題等）を総論部分に記載する。
→必要な施策は、線表に反映
- ② 「改革のための基本方向」を新たなSWOT分析に基づき、現在の3つの基本方向から次の5つに整理する。

《第1期計画》	《第2期計画》
1 足下を固め、活力ある県外市場に打って出る	1 足下を固め、活力ある県外市場に打って出る
2 産業間連携の強化	2 産業間の連携を強化する
3 足腰を固め、新分野へ進出	3 足腰を強め、地力を高める
	4 新たな産業づくりに挑戦する
	5 産業人材を育てる

※「産業人材の育成」を新たに基本方向として定め推進する

<産業成長戦略>

- ③各分野ごとの戦略の「全体概要図」に、新たに「概要説明」を追加する。
- ④連携テーマを、現在の7テーマから次の5テーマに整理する。

《第1期計画》	《第2期計画》
1 地産地消・地産外商戦略	<u>1 地産地消・地産外商戦略の展開</u>
2 ニューツーリズムの推進と観光への地域産物の活用	⇒専門分野で対応
3 新エネルギーを産業に生かす	<u>2 新エネルギーを産業振興に生かす</u>
4 産学官連携の強化	<u>3 産学官連携による力強い産業の礎を築く</u>
5 中山間地域の産業づくり	<u>4 中山間の暮らしを支える産業づくり</u>
6 建設業の新分野進出	⇒専門分野で対応
7 人材育成・人材確保	<u>5 産業人材の育成・確保</u>

<地域アクションプラン>

- ⑤第1期計画の地域アクションプランの総括（主な成果、乗り越えるべき課題等）を記載する。
- ⑥線表の仕分を廃止する。